

お家の方へ ～家庭学習の習慣や方法～

1 家庭学習の習慣（家庭学習のポイント）

- ① 時間を決めて毎日続ける。
- ② 机の上をきれいにし、正しい姿勢で行う。
- ③ 静かな場所で集中して行う。テレビを見ながらしない。
- ④ 家庭学習を毎日確認し、励ましの言葉をかけてください。



2 学年の発達段階に応じた家庭学習への取り組み

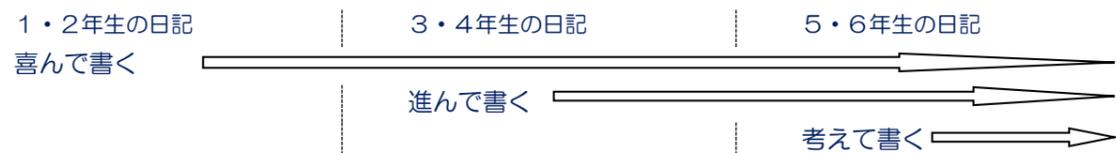
- ① **1・2年生のねらい 「基本的な学習習慣を身につけさせましょう。」**
低学年では、無理のない取り組みが大切です。計画は無理せず、時間は短く、学習内容も取り組みやすいものから始めると長続きます。また、低学年では特にお家の方の関わりが大切です。「学力アップは規則正しい生活から（早寝早起き朝ごはん）」のもと、家でも学習する習慣を身につけさせるよう努めてください。
- ② **3・4年生のねらい 「自主的な学習習慣を身につけさせましょう。」**
中学年では、励みになる言葉がけが、やる気と自信を生み出します。「よくできたね。」の言葉がけとともに、よいところを具体的に伝えることがポイントです。「ここまではできた。」と自分の学習を前向きに受け止めさせることが、次の学習への意欲や自信につながります。また、家族も共に学ぶ気持ちを持つことも大切です。
- ③ **5・6年生のねらい 「自主学習の学習習慣を身につけさせましょう。」**
高学年では、子どもが自ら進んで学習することが大切です。自分で時間を決めて学習したり、課題を決めて取り組んだりできるようになってほしいものです。うまく取り組めない場合は、原因と具体的な解決方法を一緒に考えていくことが大切です。目標を決めて努力できるように、あたたかく見守りながら励ましてください。

3 家庭学習の方法（こんな学習をしたらどうでしょう）

国語	算数	社会・理科・総合
<ul style="list-style-type: none"> ・大岡漢字テスト ・漢字ドリル ・音読・視写 ・意味調べ 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算練習 ・算数ドリル ・教科書の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強したことに関係あることを資料などで調べる ・授業で学習したことをノートにまとめる
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・読書をしましょう ・国語辞典、漢字辞典、その他の図鑑を身近において調べましょう。 ・日本地図、世界地図、地球儀などを使って調べましょう。 ・テレビのニュースを見たり、新聞などに目を通したりしましょう。 ・自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。 	

4 日記（一日の出来事をふり返り、明日のめあてを持つ）

一日のできごとをふり返り、感じたことや考えたことを日記に記すことで、書く力と豊かな文章表現力を伸ばすことをねらいとしています。学校での出来事やそこでどんなことを感じ、考えたのか、その“呼び水”となるような問いかけ（会話）をしてください。



家庭学習の手引き



はじめに ～家庭学習で「学ぶ力」を育てましょう～

学校では、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎学力や「学ぶ力」を育てる努力をしています。そして、それは家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「なぜだろう」「どうなるのだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通しをもって考える力を言います。家庭学習を毎日続けることで、しっかりとした考え方や集中力だけでなく、学習習慣が身につく、困難なことに出合ってもくじけずに積極的にチャレンジしようとする力が備わります。家庭学習の定着は、子どもの主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生を心豊かに生きる力となって、将来への大きな財産となります。家庭学習充実のために、この冊子を十分に活用して欲しいと思います。

家庭を「学び」の環境にしましょう。

進んで学ぼうとする力は、子どもが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねることで育ちます。また、子どもは、家族に認められ励まされることで、「がんばってよかった」という充足感や「見守られている」という安心感の中で、自分らしさや努力することに自信をもつようになります。

学校と家庭とが協力し合って、子どもの「学ぶ力」を大きく育てていきましょう。

平成29年4月
長野市立大岡小学校



家庭学習の習慣をつけましょう！

家に帰ったら

家に帰ったら、まずランドセルをあけて、教科書・ノート、連絡帳、お便りなどを出しましょう。

- 「帰ったら家庭学習をする」など、自分なりの計画・習慣をつけましょう。
- 机の上や周りを片づけ、連絡帳で宿題を確かめ、家庭学習（宿題や読書、自主学習）を始めます。
- 学習が終わったら、連絡帳を見て、翌日の学習や持ち物の準備をします。



家庭学習のやくそく

毎日、決めた時間に学習する習慣を身につけましょう。

- 家庭学習は、学年×10分以上を目標に取り組みましょう。
- テレビや音楽などが聞こえない静かな場所で、集中してやりましょう。
- 机の上や周りを片づけ、正しい姿勢で取り組みましょう。
- 高学年は、自主学習や予習復習も取り入れ、家庭学習をしましょう。
- ドリルやプリントを見かえし、間違えたところの直しをやりましょう。
- 終わったら、家の人に見てもらいましょう。



家庭学習（宿題+自主学習）の時間のめやす ※学校ではこの時間に合わせて、日記、漢字、ドリルなどの宿題を出します。				
	家庭学習	（宿題 + 自主学習）		その他
1・2年生	20～30分	20～30分	やれそうならばやる	10分間読書
3・4年生	40～60分	25～40分	15～20分	ニュースを見る・聞くなど
5・6年生	60～90分	40～60分	20～30分	

家でのじゅんび

家で明日の学習の準備をしておく、安心して登校できます。

- 前の日のうちに連絡帳や時間割を見て、準備をしましょう。
- ランドセルや筆ばこの中を、もう一度確かめましょう。
 - 鉛筆はけずってありますか？ 数はそろっていますか？
 - 消しゴム □ 下敷き



低学年はBか2Bを使いましょう。
削った鉛筆5本、赤えんぴつ1本。

全てに記名をしておきましょう。

高学年はBか2Bを使いましょう。
赤えんぴつのほか、赤ペンや青ペン、マーカーなどもよい。
必要に応じて、定規や分度器、コンパスなども用意しましょう。



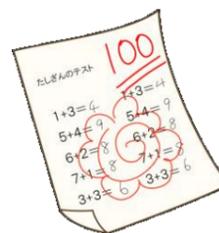
自主学習（自学）の例

宿題のほかに、自分で取り組む学習の事です。

- 学校の勉強とつながり、自分で課題を見つけて行う学習の事です。
中・高学年は自主学習（自学）のノートを用意し、自分で計画を立てて学習を進めましょう。
- 本年度の大岡漢字テストの予定。

1学期	7月18日（火）	○ それぞれの学年で学習した漢字が出題されます。90点以上できた人には、賞状が渡されます。
2学期	12月5日（火）	
3学期	3月6日（火）	

※ 漢字検定 月 日実施



テストやプリントを上手に役立てよう！

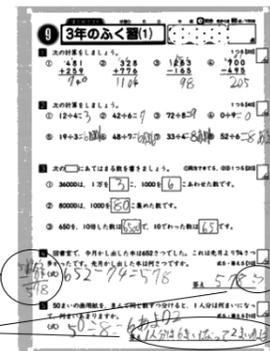
問題をとくとき

早く終わっても、まちがいが多いといけません。

- 学年、番号、氏名を忘れずにていねいに書こう。
- 答えは、読みやすく、ていねいな字で書こう。
- およその時間を決めて、集中して取り組もう。
- むずかしい問題は、あとでやろう。
- 終わったら、見直しをしよう。

筆算はあいたところにかく。

単位を確認する。



返してもらったら

どこでまちがえたのか確かめ、見直しをしましょう。

- 間違えた漢字は、3回以上練習しましょう。
- 算数は、間違えた問題をノートに書き、もう一度やってみましょう。
- わからない問題は、教科書やノートでふり返り、それでもわからなければ、家の人や先生に聞きましょう。

